

 四季の花々



ナニワズ



ヒトリシズカ



オクエゾサイシン



フデリンドウ



ベニバナイチヤクソウ



ノビネチドリ



キリンソウ



アキノウナギツカミ



ヤナギタンポポ



エゾノキツネアザミ

 岐登牛の花・マメ知識

カタクリ (片栗) ユリ科

カタクリは花をつけるまでに7~8年かかると言われている。1年目は細い線のような小さい葉を1枚だけつけ、2年目から楕円形の葉をつける。年を追うごとに葉が大きくなっていくが、葉は1枚だけである。花が咲く年になってようやく葉は2枚となる。花は淡い薄紅色で6枚の花びらが反り返って下向きにつき、開花期間は1週間程度短い。またカタクリの種子には「エライオソーム」と呼ばれるアリが好む成分が付着しており、カタクリの分布を広げるのに役立っている。



カタクリ



カタクリ群落

サイハイラン (采配蘭) ラン科

高さ30~50cm。薄紅色の花が斜め下向きに多数つきとても香りが良い。林床に密かに咲いている姿はどことなく気品が漂う華やかさである。夏前に枯れた葉は秋に新しい葉を出し、雪の下で越冬する。



サイハイラン

ヤマシャクヤク (山芍薬) ボタン科

高さ40~50cm。花は白色で球のような丸い形をしている。満開時でも開ききらないのが特徴。山の中でないと見られないと言われている貴重な種である。果実は熟すと縦に裂け、赤いザク口のような中に黒い種子が見える。



ヤマシャクヤク



岐登牛山

花ごよみ

